readme.md 2023/03/01 19:45

仕様書

株取引における種々のコード

本研究では、短期間 (1か月以内) における株取引で、従来手法を上回る収益を出す戦略を過去データによるシミュレーションによって構築する.

動作環境

OS: Windows 11以上

準備

以下のツールを必要とする.

- Python3
- matplotlib
- numpy
- seaborn
- scipy
- pandas
- pickle
- xgboost
- glob
- sklearn

基本的に以下のようにインストールする

```
pip install huga_package
```

Python3は Anaconda 環境をインストールして, pip コマンドを使えるようにする.

ディレクトリ構成

```
my_code
|-data
| L-raw
|-funcs
|-modules
| |-constants
| |-funcs
```

readme.md 2023/03/01 19:45

各ディレクトリ,ファイル説明

- main.ipynb: simulationの仕方, 各機械学習モデルの学習方法などを記載したファイル. 研究の際は, このファイルを使って検証を行う.
- data:株価データを保存したcsvファイルのあるディレクトリ. 筆者は松井証券からダウンロードしたものを利用した. investing.com というサイトから無料でかなりのデータを引っ張ってこれるので, こちらのサイトはおすすめ. ただし, 松井証券版のデータとの互換性がないため, main.ipynbに記載した変換を行う必要あり. (https://jp.investing.com/indices/topix-iron---steel-historical-data)
- constants:よく使う定数などを記載したディレクトリ.定数の種別でファイルを分けている.
- funcs: modules直下のfuncsを使うべし. 未実装
- preparing:未実装
- preprocessing: 学習用データ作成のプログラムをまとめたディレクトリ.
- simulation: 各モデル毎のシミュレーションをまとめたディレクトリ.
- training: 各モデルの学習法などをまとめたディレクトリ.
- pickles: 各モデルや実行結果のpickleファイルをまとめたディレクトリ.

使用法

主にmain.ipynbに使用法を記載している. そちらを参照されたい.

注意事項

かなりスパゲティなコードになっているため、関数の呼び出す順序によってはエラーになる場合あり、必ずしも、ディレクトリごとにまとめたファイルが、ディレクトリ名の役割と一致するとは限らない、ソースコードのリファクタリングは、後任に期待するところ大である。

Author

作成情報

- 作成者: 依田倫太朗
- 明治大学大学院2022年度修了
- github: https://github.com/yodarjeering/my_code

参考文献

 執行戦略と取引コストに関する研究の進展 売買戦略について詳細にまとめてある. 方針が経たないうちは熟読すべし. 筆者はかなり参考にした. readme.md 2023/03/01 19:45

https://www.imes.boj.or.jp/research/papers/japanese/kk31-1-8.pdf

2. Famaさんの論文

株を研究テーマにするなら読みましょう. 短期投資ではインデックス投資に勝てませんよ, という話. https://www.jstor.org/stable/2325486

経済系の研究の所感

筆者が経済知識ゼロから研究したしくじりなどをまとめる.

- 論文をあまり読まなかった
 - 先行研究など, あまり調べなかった. 短期投資に焦点を当てた点や, ローパスフィルタを用いて戦略選択をするという新規性は, かなり後になって生まれた. 経済系の研究を行う後任者は, 方針を決める前には, たくさん論文を読み, 新規性などよくよく考えて研究をされたし.
- 研究の進め方
 - やはり理論が大事. 機械学習より前に, 相関係数であったり, ヒストグラムであったり, 単回帰分析などローテクな技術から研究を始めるべし.
- 株はきつい
 - 株の売買戦略などはきつい. 筆者はBitcoinの自動売買などもしたが, 短期取引はかなりきつい. 結局インデックス投資には勝てなかった. 競馬予測は結構いけそう.